

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

### 1 学力調査に関する結果の概要

#### 【国 語】

- 漢字の書き取りやことばの意味、歴史的仮名遣いの読み方など、基礎的な学習内容が定着している。
- 知識・技能に関する項目については定着度が高い。
- 資料や具体例の中から、根拠を明確にして、自分の考えを書くことに課題が見られる。

#### 【数 学】

- 数に関する基礎的な知識については定着している。
- 2極化傾向にあるが、説明する問題（思考・判断・評点に関する項目）については正答率が高い。
- 2極化傾向にあり、無回答率が高い。

#### 【英 語】(中学校のみ)

- 半数以上の生徒が情報を正確に聞き取ったり、読み取ったりすることができている。
- 日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えや理由を書くことに課題が見られる。

### 2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 「朝食をとる」「毎日、同じくらいの時刻に就寝・起床している」など、基本的な生活習慣はおおむね定着している。
- 「自分にはよいところがある」や「将来の夢がある」「人の役に立つ人間になりたい」など、自分を肯定的にとらえようとする意識が高い。
- 道徳・総合的な学習の時間・学級活動などにおけるグループ交流を通して、友達の意見をきいたり、取組等を考えたりすることを好む傾向が高い。
- 家庭学習の時間の確保ができていなかったり、学習の計画を立てたりすることに課題が見られる。
- 学習したことが将来役に立つと感じていない生徒が多い。

### 3 取組についての評価

#### (1) 教科に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・ 全教科における小グループでの交流活動を積極的に取り入れた。
- ・ 授業改善として、説明したり、考えを書いたりするなどの時間など設定するように心がけた。
- ・ LANタイム（新聞の社説の読み取り）を継続的に実施した。

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ タブレットをはじめとするICTを活用し、多くの資料等から読み取って考えたり、それを書いたりする授業を展開する。
- ・ 基礎的な学習内容の定着のために朝読書やドリル学習の実施を継続していく。

#### (2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・ 道徳の時間において、読み物教材だけでなく、様々な動画等を用いた授業を展開している。

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ タブレットを活用した家庭学習（ミライシードやステディギアなど）の推進をする。
- ・ スケジュールリングの習慣を定着させる。